

平成28年 5月13日

まちづくり活動提案書

(地域“魅力”アップ部門 ・ “はじめの一步”部門)

※助成を受けようとする部門を○で囲んで下さい

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

団体名	こどもと地域まちをつむぐ会
提案名	地域でこどもを育てよう！こどもが未来のまちの希望
提案活動を行う地域	名古屋市昭和区阿由知通
提案の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のこどもたちとの触れ合いこどもと大人の関わりが少ない ・住民同士、世代の垣根越えて力合わせて盛り上がる場がない ・片親家庭や孤立家庭の地域でのサポート、つながりがない
提案活動の目的・目標	<p>(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください)</p> <p>■目的 地域でこどもたちを見守る、育てる</p> <p>■目標 様々な家庭の事情に対応し、世代を超えた人と人の交流、学びあい、助け合えるつながりづくり 孤立家庭へのアプローチ 参加者から地域へ 地域から活動広げる 参加人数20～30人</p> <p>■成果 地域や人と人のつながり 家族だけじゃなく住民同士の助け合い みんながまちの家族</p>
提案の内容	<p>(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>交流の場を設ける</u> 季節ごとに集まって、世代を超えた交流を 昔の遊びを大人から教えてもらう ・ <u>食育の場として</u> 講師など（地域のお母さんやお父さんで栄養士さんなどいたら願する、身近な人で）呼んでこどもたちその親にお話し会 試食会 ・ <u>子育て勉強会</u> 核家族化、転勤族など子育ての孤立支援 情報交換 子育てお話し会 無料相談会 ・ お母さんの得意を生かしたこども対象ミニマルシェ ・ こどもたちの集いの場 見守り保育 共働きなどで留守番しているこどもにきてもらって 高校生や大学生の子（保育短大の子たちに声かけたり）、また一人暮らしの方たちと過ごす場づくり ・ 広報活動 参加者の呼びかけ チラシ作成 打ち合わせ ボランティアスタッフ募集 得意なことをシェアしあう 能力を助け合いに用いる ・ 場所は 自営の店舗や店舗2階のサロン 市営住宅集会所

活動期間	平成 28年4月～平成 29年 3月	助成金交 付申請額	5	万円
------	-----------------------	--------------	---	----

2 提案内容の視点

以下の視点で提案内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か ・工事を伴う活動の場合、公益性、公共性のあるものか
(提案活動の必要性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・こどもは未来の宝、希望である こどもたちを大人、地域全体で見守る、育てることが未来のまちへとつながる ・地域の連携により、家庭の事情の情報、孤立や困っている人たちに手を差し伸べ協力し合う 頼りあう お互いさまのすみよいまちに ・<u>世代をこえて気軽に集まれる 子供会から町内会と連携</u> ・ ・ 	
審査基準② 独創性	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか
(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。) <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根付きやすく誰でも参加しやすい形態、場でありながら、それぞれの世代が得意なことで助け合い ・講師や勉強会は特別な先生を呼ぶよりも地域で活動してる人、または子育てなどでお休みしているお母さん講師 引退後の先生など 世代を超えてお互いの能力を生かせる場にしていく ・交流の場でもあり、得意を生かす場でもある 地域で盛り上がる 	
審査基準③ 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容が具体的になっているか ・自己資金を含め、活動内容や資金計画などは妥当か ・場所や人員、規模などは妥当か
(提案活動の実現性について上記観点から分かりやすくご記入ください。) <ul style="list-style-type: none"> ・場所の目処はついている (自営のお店か集会所) ・自己資金は広告費が主 <u>セラピスト</u> ・自分自身が<u>セラピスト</u>との勉強中 それを生かしたい ・食に関してのプロがまわりにたくさんいる 協力あおげる 	

審査基準④ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか ・工事を伴う活動の場合、成果物はまちづくりにどのように活かされるか
(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)	
<ul style="list-style-type: none"> ・認知が広がれば地域一体となれる 季節ごとに大きめのイベント行事を開催したい ・イベントあるなしに関わらず、まちのみんなで子育てできる、見守る環境づくり 安心安全の住みよい街 ・こども食堂の開催につなげる →学区に一つのこども食堂⇒様々な家庭の事情からこどもの心と体のサポート 	
審査基準⑤ 活動実績 と主体性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか ・具体的にどんな熱意を注いでいるか ・工事を伴う活動の場合、自ら主体となって工事を行い、継続的に維持管理する能力があるか
<p>※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。 ※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。 この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。 (団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。)</p>	

3 提案活動にあたり他団体、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等と取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
昭和区役所 子育て支援センター	情報の共有 拡散など

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。